

令和5年度（2023年度）公共事業再評価調書

（様式3）

基準年月日 令和5年8月1日

調書番号	08-02	所管部	建設部	作成責任者	建設部土木局河川砂防課長 上前 孝之
				担当係	河川計画係（内）29-323

I 基本事項（基準日時点）

事業種別	大規模特定河川事業費、広域河川改修事業費（社会資本整備総合交付金）				
ふりがな 地区名	つききむがわ 月寒川	市町村名	札幌市	総事業費	7,713 百万円
負担割合	国	66.7%	道	33.3%	市町村
		5,142 百万円		2,571 百万円	その他

事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●月寒川は、石狩川水系豊平川に合流する一級河川で、S40年（1965年）に豊平川合流点上流4.5km地点から同8.6km地点まで4.1kmの区間の河川改修事業に着手しており、H3年度（1991年度）に完成した。 ●しかしながら、市街地としては治水安全度が十分ではなく、H26年（2014年）9月の洪水により、家屋浸水などの被害が発生した。 ●このため、H30年（2018年）より当該計画区間（月寒川L=2.2km）の河川改修事業に着手。 ●堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行い、札幌市白石区などの市街地の浸水被害を防止する。
---------	---

【アウトカム】等	●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数 379戸→0戸
----------	--

事業概要	月寒川は、豊平川合流点の上流4.5km地点から、6.7km地点までの区間について、流下能力向上のため、堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行うものである。	工事費内訳	計画流量	Q= 170m ³ /s	(百万円)	(百万円)	(百万円)
			計画延長	L= 2,200m	前回評価	今回評価	増減額
			築堤工	L= 1,070m	315	400	85
			掘削工	L= 2,200m	1,309	2,204	895
			護岸工	L= 4,400m	1,609	2,067	458
			附帯工事	道路橋2橋等	554	723	169
			測量設計費	調査・設計	595	1,421	826
用地費及補償費	用地買収・物件補償	898	898	0			
計			5,280	7,713	2,433		

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		生活・安心	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	大規模自然災害対策の推進（強靱化）

特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	<p>【計画名：北海道強靱化計画 P28】 （河川改修等の治水対策） 河道の掘削、築堤、放水路、ダム、遊水地の整備などの治水対策について、近年の大雨災害等を勘案した重点的な整備を推進する。</p>
	関連する指標	-

II 公共事業評価経過

（単位：百万円）

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費 (a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)
							5,280	1,760			
事前評価又は当初	H30 (2018)	H31 (2019)	H29 (2017)	H50 (2038)	5	7,713	2,571	540	2,577	33%	
前回再評価											
今回評価			R5 (2023)	R20 (2038)							

変更理由・内容（概要）	<p>(1) 軟弱地盤対策に伴う地下水低下対策の設計費、施工費の増額。 (2) 軟弱地盤対策に伴う護岸工種・基礎工の設計費、施工費の増額。 (3) 資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額。</p>
-------------	---

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> ● S46年（1971年）9月 浸水被害が発生（浸水面積0.9ha、浸水家屋37戸） ● S56年（1981年）8月上旬 浸水被害が発生（浸水面積3.6ha、浸水家屋56戸） ● S56年（1981年）8月下旬 浸水被害が発生（浸水面積2.6ha、浸水家屋39戸） ● H26年（2014年）9月 浸水被害が発生（浸水面積4.0ha、浸水家屋15戸） 															
2. 事業検討の経緯（住民ニーズの把握等）	<ul style="list-style-type: none"> ● H28年（2016年） 札幌市より道に河川改修の要望 ● H30年（2018年） 改修事業に着手 															
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 札幌市白石区など 氾濫防止面積 33ha、浸水防止家屋 379戸 															
4. 関連する事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業主体</th> <th>事業期間</th> <th>事業費（百万円）</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業名	事業主体	事業期間	事業費（百万円）	事業内容										
事業名	事業主体	事業期間	事業費（百万円）	事業内容												

IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画																				
	施工(工種)区分	工事内容	H30	R1		~		R5	R6		~		R20	進捗状況	事業費(百万円)						
	築堤工	L= 1,070m		←		L=144m		→			L=926m		→	9%	400						
	掘削工	L= 2,200m		←		L=297m		→			L=1,903m		→	48%	2204						
	護岸工	L= 4,400m		←		L=594m		→			L=3,806m		→	20%	2067						
	付帯工事	道路橋2橋等									道路橋2橋等			0%	723						
	測量設計費	調査・設計	←											74%	1421						
用地補償費	用地買収・物件補償			←	2件	→					21件		→	1%	898						
(2) 進捗状況																					
はくさん橋下流までの0.3km区間の整備を完了。 軟弱地盤対策の追加等の変更があるものの、事業は概ね予定どおりに進捗しており、今後の事業実施にあたって、特に大きな支障となるものはない。																					
<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。</td> </tr> </table>																a	a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。				
a	a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。																				
2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)				費用の内訳(百万円)				備考												
	項目	R5 現在			項目	R5 現在			<ul style="list-style-type: none"> ●「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省R2(2020))に基づき算出 ●効果及び費用は、R5(2023)に現在価値化し、「整備期間+事業完了後50年間」で算出 ●効果は、洪水氾濫における直接被害額(家屋、公共土木施設、農地等)及び間接被害額(営業停止被害等)により年平均被害軽減期待額を算出 ●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる 												
	洪水被害防止効果	11,827			建設費	6,134															
					維持管理費	12															
	合計(B)	11,827			合計(C)	6,146															
B/C		前回算定年度 : H29年度(2017年度)																			
R5 現在		前回算定時B/C: 1.84(合計(B): 6,618 合計(C): 3,605)																			
1.92		変更理由 <ul style="list-style-type: none"> ・事業費の増額に伴う費用の増加 ・治水経済調査マニュアル(案)の改定に伴う便益算定方法の見直しによる効果の増加 ・効果及び費用をR5(2023)に現在価値化したことなどによる。 																			
3. コスト縮減などの取組	取組の項目		取組内容										縮減額(百万円)								
	施工の最適化		建設発生土の有効利用										10								
V 評価																					
1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 札幌市白石区などの市街地の浸水被害を防止するためのもの。 ● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。 																				
	a		a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。																		
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題																				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 河床形状の回復に努め、生物の生息・生育環境に配慮している。 ● 周辺住民の貴重な水辺環境としての親水性を考慮し、管理用通路の利活用や水辺へのアクセス等に配慮している。 ● 落差工に魚道を設置し、魚類の遡上環境に配慮している。 ※直近の評価以降における状況変化はない。																				
	(2) 事業推進に対する地域の動向・意向																				
<ul style="list-style-type: none"> ● 札幌市から事業の早期完成に向けて要望が出されている。 ※直近の評価以降における状況変化はない。																					
(3) その他の課題																					
<ul style="list-style-type: none"> ● 特になし ※直近の評価以降における状況変化はない。																					
3. 事業達成の見込み	前回評価から事業の必要性に変化はないほか、事業を推進する上での課題等もなく、前回評価から大幅に事業が進捗していることから、予定年度での事業達成が見込まれる。																				
	a		a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。																		
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和20年度(2038年度)の完成を目指し、事業継続する。																				
	a		a: 継続 b: 終了 c: 休止 d: 中止																		
事業期間変更の有無		無				事業内容変更の有無				無				総事業費変更の有無				有			

VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価：平成29年度（2017年度）評価 評価結果：事業採択 B/C=1.84
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

補足資料

VII 事業計画変更

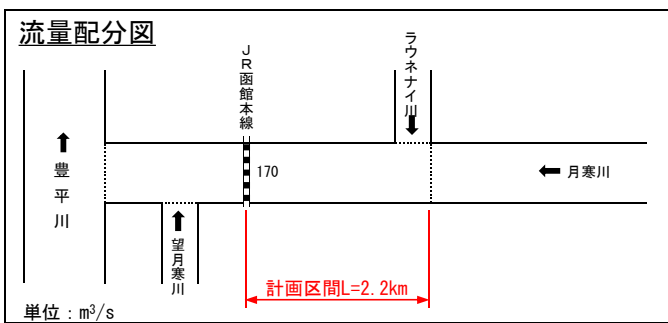
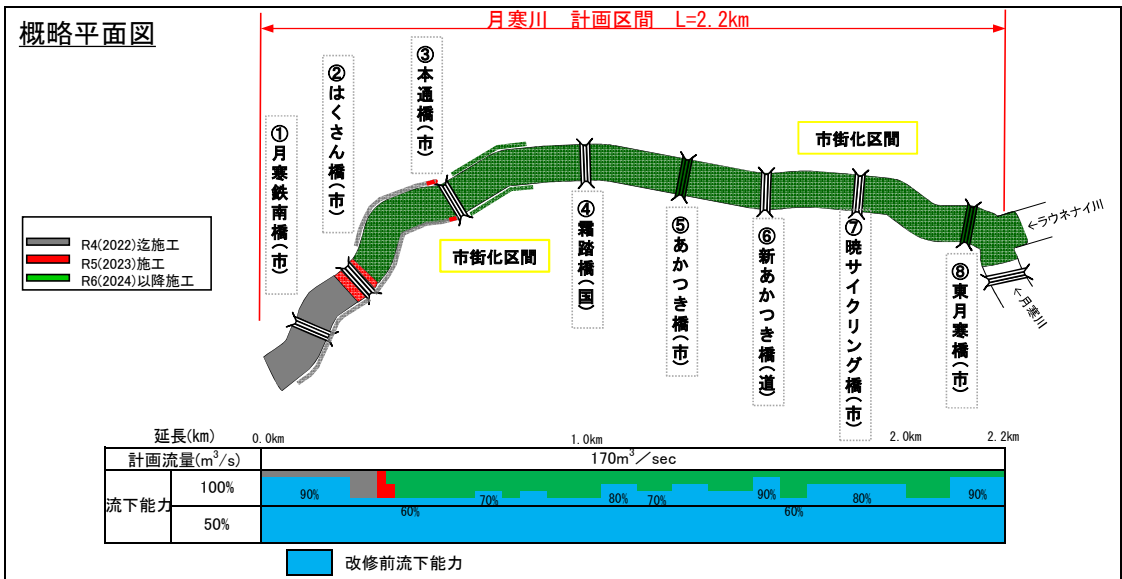
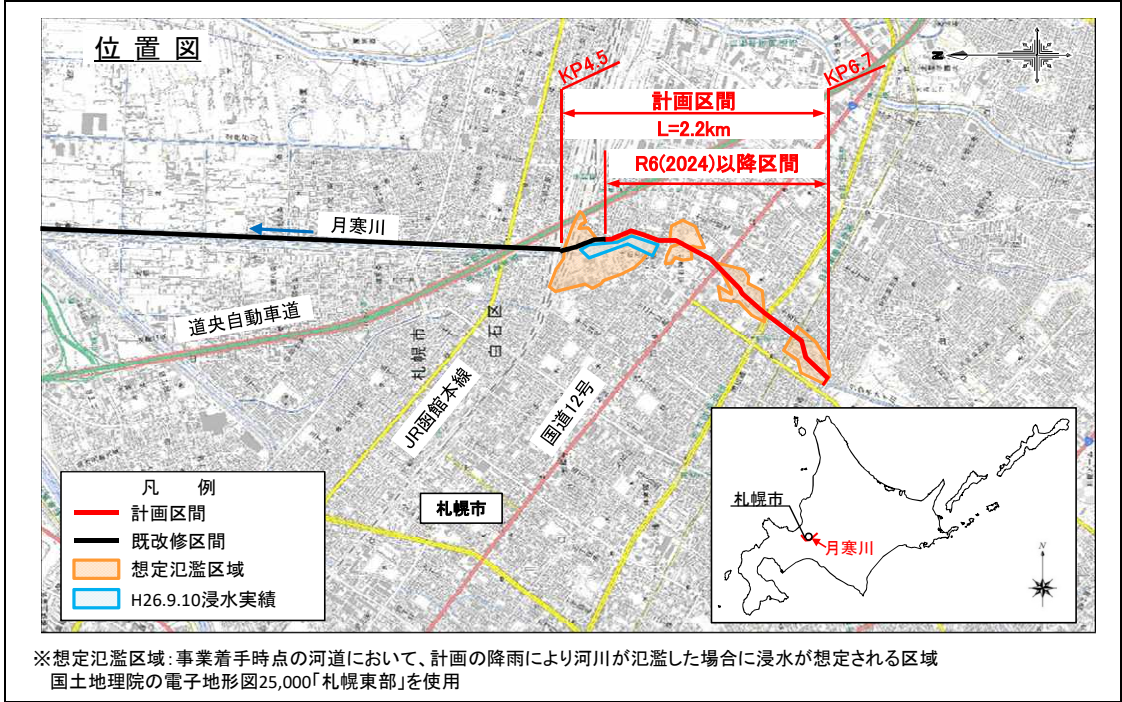
(単位：百万円)

事業経過							経 過 年 数	事業費			
再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定	総事業費 (a)		当該年度 事業費	累計事業 費 (b)	進捗率 (b)/(a)	
事前評価 又は当初	H30 (2018)	H31 (2019)	H29 (2017)		H50 (2038)		5,280				
変更①				R1 (2019)	R20 (2038)		6,160				
変更②	1回目			R5 (2023)	R5 (2023)	R20 (2038)	7,713	330	2,577 33%		
変更③											
変更④											
変更⑤											
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											

変更理由・内容

- 変更①：事業費の変更
 ・軟弱地盤対策に伴う地下水低下対策の設計費、施工費の増額。
 ・軟弱地盤対策に伴う護岸工種・基礎工の設計費、施工費の増額。
- 変更②：事業費の変更
 ・軟弱地盤対策に伴う地下水低下対策の設計費、施工費の増額。
 ・軟弱地盤対策に伴う護岸工種・基礎工の設計費、施工費の増額。
 ・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による増額。

事業名	大規模特定河川事業費、 広域河川改修事業費(社会資本整備総合交付金)	地区名	つきさむがわ 月寒川	着手年度	H31 (2019)
-----	---------------------------------------	-----	---------------	------	---------------



計画諸元

流域面積	22.7 km ²
計画延長	2.2 km
氾濫面積	33 ha
計画雨量	38 mm/hr
計画高水流量	170 m³/s
計画勾配	1/380 ~ 1/150

